

令和3年度 京築地区中学校バレーボール大会要項

- 1 大会名 第59回京築地区中学校バレーボール大会
- 2 主催 京築地区中学校体育連盟
京築地区各市町（学校組合）教育委員会
- 共催 福岡県教育委員会
- 3 期日 令和3年7月17日（土） 8：00 開場
8：20～ 監督会議
9：00～ 試合開始
- 7月18日（日） 8：00 開場
8：20～ 監督会議
9：00～ 試合開始
- ※ 開会式は行わない。閉会式は、簡素化したものを実施する。
※ 出場チームは、割り当てられた会場に、設定時間に間に合うように集合する。
- 4 会場 【女子】1日目：今元中学校、行橋中学校 2日目：今元中学校
【男子】1日目：行橋中学校
- 5 参加制限 男子：オープン参加 女子：各郡市大会上位2チーム
- 6 競技方法 男子・・・総当たりによる順位決定戦 女子・・・トーナメント、リーグ方式
- 7 競技規則 本年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則、及び福岡県中学校体育連盟ならびに本大会の申し合わせ事項に準ずる。
- (1) ネット 男子2m30cm、女子2m15cmとする。
- (2) 試合球 公認4号球（男子モルテンV4M5000、女子ミカサV400W）
- (3) 大会参加に際して引率・監督は、当該学校の校長、教員、部活動指導員とする。コーチは当該学校の教育職員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し、承認を受けた者とする。
- (4) ベンチは監督、コーチ1名、選手12名、生徒マネージャー1名の計15名以内とする。
- (5) ラインジャッジ、公式記録、点示については出場チームに割り当てる。
- 8 表彰 1位（優勝旗・団体賞状・個人賞状）
2位（団体賞状・個人賞状） 計 大4枚、小52枚
- 9 申し込み 当日の朝エントリーシートを本部に提出する。

※各郡市専門部長は、7月9日（金）午前中までに郡市大会の結果を地区専門部長まで報告すること。

11 当日の練習割

練習時間	行橋（女子）	今元（女子）
8:00~8:20	京都1 築上2	第二試合 築上1 京都2
8:20~8:40		第一試合 豊前1 行橋2

※行橋会場は移動を考慮し8:29に、今元会場は8:49にプロトコール開始。

12 組み合わせ（D案）

【男子】3チーム総当たりによる順位決定戦 ※組み合わせは郡市大会の順位を参考にする。

【女子】トーナメント1回戦、リーグ戦

試合順	行橋中会場			今元中会場		
	設定時間	組み合わせ	生徒役員	設定時間	組み合わせ	生徒役員
第1試合	8:40	京都1 vs 築上2	行橋男子	9:00	豊前1 vs 行橋2	2試合目より4名ずつ
第2試合	10:00	男子1 - 男子3	男子2	10:00	築上1 vs 京都2	1試合目の勝者
第3試合	11:00	男子2 - 男子3	男子1	11:30	A - B	空きチームより4名ずつ
第4試合	12:00	男子1 - 男子2	男子3	12:30	C - D	空きチームより4名ずつ

○ 1日目（7月17日 土曜日）

※女子の決勝リーグ対戦順は、予選終了後に抽選する。

※不戦勝の女子行橋1位は、抽選を行うので11時に会場に入ること。

※敗戦チームについては審判を割り当てず、使用箇所の消毒実施後直ちに会場から撤収すること。

○ 2日目（7月18日 日曜日）

試合順	今元中会場		
	設定時間	組み合わせ	生徒役員
第1試合	9:00	A - C	空きチームより4名ずつ
第2試合	10:00	B - D	空きチームより4名ずつ
第3試合	11:30	A - D	空きチームより4名ずつ
第4試合	12:30	B - C	空きチームより4名ずつ

※ 本大会は京築地区中体連大会組み合わせ【 D 】案をもとに作成する。

（令和4年度E案 令和5年度F案 令和6年度A案）

※ 生徒役員については、上記の通り割り当てる。

※ プロトコールは設定時間の11分前に行う。それを過ぎて前の試合が終わった場合は10分間の換気を行った後、プロトコールを実施する。

13 県大会出場について

男女とも上位2チームは、県大会に参加する義務を負う。

（県大会に参加するチームの監督は、大会終了後打ち合わせを行う。）

14 その他

（1）AEDは各会場とも職員室前に設置。

（2）Jアラート警報時は、試合を一時中断し、屋内にて安全を確保する。警報が解除され次第、試合を再開する。

- 会場・受付
 - 会場出入り口や受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
 - 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
 - 館内に入場できる生徒は、登録メンバーと生徒マネージャーのみとする。
ただし、会場校の生徒役員についてはその限りではない。
 - 保護者の入場は会場の指示に従うこと。入場の際には各校で準備した「〇〇中保護者」と記載したIDを着用し、チェックリスト記入、検温、手指消毒、マスク着用の上入館する。
- 各校責任者は、参加者から以下の事項を記載した健康観察カードの提出を求め、大会終了後2週間保管すること
 - 氏名、年齢※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 利用当日の体温
 - 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせたり、速やかに帰宅させたりすること
 - 体調がよくない場合（発熱・せき・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- マスク等の準備
 - 感染対策に係る用具は、予備を含め各校で準備する。専門部でも準備はするが、貸出等を行わない。
 - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
 - 運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること
（運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）
 - ベンチスタッフもマスクを着用すること
 - オンコート時以外は極力マスクを着用することを推奨する。
 - 審判員はマスク着用の上、ホイッスルを使用する。
- 大会参加前後の留意事項
 - 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
- 大会中の注意事項
 - 各試合の後、審判員はボール、フラッグの消毒を行うこと
 - 握手、ハイタッチなど接触を伴う行為を禁止すること
 - 円陣を組まないこと
 - 観客やベンチ入り生徒、応援席にいる生徒の声を出しての応援や鳴り物による応援は禁止する。
 - コートチェンジの際は、ベンチのイスは使用者が持って移動し、試合終了後にチームで消毒を行う。
- 手洗い
 - 1試合ごとに手洗いをすること
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること
（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること）
 - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- 更衣室、休憩・待機スペース
 - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
 - 一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
 - 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
 - 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- 飲食
 - 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること
- 洗面所
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
 - トイレの蓋を開けて汚物を流すよう表示すること
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること
（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること）

- 飲食物の提供時
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
 - 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
 - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること
- 保護者の管理（適時アナウンスや掲示物でお知らせをすること）
 - 入場可能人数は、選手登録数と同数を上限とする。（最大12名）
ただし、緊急時の対応等に不安がある場合はその限りではない。
また、試合間やセット間における保護者の出入りは可能であるが、応援サイドは交代しない。
 - 各チーム1名のみビデオ撮影を許可する
 - 大会関係者や保護者同士が密な状態とならないようにすること
 - 大声で会話をしたり、声援を送ったりしないこと
 - 鳴り物による応援は禁止とすること
 - 会話をする場合にはマスクを着用することなどの留意事項を周知すること
- 大会会場
 - 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
 - 換気設備を適切に運転すること
 - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- ゴミの廃棄
 - 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
 - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること